

放課後等デイサービスガイドライン自己評価表

回答率

事業所職員： 4名回答、回答率 100%
保護者様： 20名回答、回答率 85%

職員の意見

○環境・体制整備

- ・ボードゲームやお絵かき等の室内遊びができるスペースとともに、運動ができる空間も確保されている。
- ・床の硬さや冷たさがあるが、床マットを貼る作業が行われ改善予定である。

○業務改善

- ・ガイドラインアンケートの結果を一年に一回公表している。
- ・研修への参加機会が増えたことで、学びや自己研鑽につながっている。

○適切な支援の提供

- ・スタッフ間で情報共有ができるよう業務前と業務後にミーティングを行っている。
- ・アセスメント後にスタッフで内容を共有しているため、共通認識の上で個別支援計画が作成されている。

○関係機関や保護者との連携

- ・就学前に児童が利用していた機関と情報共有を相互に行った。
- ・学校連携に関しては教員と話す機会を設けることもできたが、その回数は少ない。保護者も交えた密な連携が取れるように働きかけていく必要がある。

○保護者への説明責任等

- ・送迎時に児童の様子について共有を行っている。また家族支援として、家庭での困り事や気になっていることに関する相談に応じ、助言や関わりの方針等を伝えている。
- ・個人情報の取り扱いには十分に注意し、HPでお便りを配信したり保護者会を開催している。

○非常時等の対応

- ・定期的に避難訓練を行っている。
- ・虐待防止研修や身体拘束研修、感染症対策研修など非常時の対応についての研修がある。
- ・ヒヤリハットの事例について業務前ミーティングで共有を行い、今後の対策を検討する時間を設けている。

保護者様のご意見

○環境・体制整備

- ・部屋はいつも清潔感がある。また、室内が広いので運動ができる場所が良い。
- ・棚など物の置き場所が構造化されており使いやすい。

○適切な支援の提供

- ・相談内容や普段の様子から適切な支援をいつも考えてくれている。
- ・活動では普段の活動のほかに、調理や課外といったイベントや合同の夏祭りなどがあり、楽しい活動になるよう工夫がされている。

○保護者への説明等

- ・定期的に面談をする機会が設けられており、現在の子どもの状態や助言などを伝えてくれている。面談以外にもお迎え時のタイミングや連絡帳などで一日の様子についての共有がある。連絡帳に関しては保護者記入欄の内容にもう少し触れてくれると嬉しいとのことのご意見もいただいた。
- ・参観日にスタッフや他の保護者と話す時間が設けられているのは嬉しいが、参観日や保護者会の回数がもう少し増えると交流がもててよい。

○非常時等の対応

- ・避難訓練が定期的であり、子どもにも理解しやすい説明をしている。
- ・お友だちとぶつかったなどのちょっとしたことに関しても共有があるのでありがたい。

○満足度

- ・「安心してリラックスできる場所です」
 - ・「毎日通いたいくらい大好き場所で、先生もお友だちも大好きです」
 - ・「常にご理解ご協力いただき感謝しております」
- などのご意見をいただいた。

昨年度の振り返り

○今年度の取り組む具体策

- ・保護者会、療育参観の開催。
- ・地域交流の場を設ける。
- ・緊急時対応の定期的な指導員間の共有。
- ・安全管理マニュアルの周知。

○改善できた点・まだ残る課題

- ・保護者会、療育参観の開催。
→保護者会や保護者参加型の活動を実施したが、企画自体の周知は足りていなかった。
- ・地域交流の少なさ。
→地域の施設を利用する活動は行うことができた。
- ・緊急時対応の定期的な指導員間の共有。
→緊急時の対応について研修を行い、対応方法について共有できた部分はあるが、曖昧な認識もあるため引き続き指導員間での共有は必須である。



アンケート結果からみる教室の強み・改善点

○教室の強み

- ・業務前後のミーティングやアセスメント後の内容共有など、スタッフ間で情報を共有する機会を多く設けており、共通認識のもと支援を行うことができている。
- ・保護者会の開催や保護者も参加できる課外活動などを企画し実施した。
- ・送迎時の共有や家族支援、事細かなアセスメントを行ったことで、保護者から高い満足度を得ることができた。

○改善点

- ・地域交流の機会が少ない。
- ・保護者会や療育参観を実施しているが、参加いただける人数は少なく周知が十分できていないことが伺える。
- ・指導員間での情報共有はされているが、内容によって認識が曖昧となっていることが見られた。



中長期的な改善計画・1年間で取り組む具体策

○中長期的な改善計画

- ・課外活動で児童館に赴いたり法人内他事業所と活動をともに行うことで、地域や他者と交流する機会をより多く設けていく。
- ・関係機関との連携の強化を図る。
- ・情報共有を密に行い、全スタッフが共通の認識で業務にあたる。

○1年間で取り組む具体策

- ・保護者会や療育参観についてはお知らせを配布するだけでなく、口頭やメールなどでもお伝えし周知することで、開催の認知を高め保護者同士の交流が広がるようにする。
- ・関係機関(学校や就学前に利用していた施設)との連携を強め、児童の支援につなげていく。
- ・情報共有に関してミーティングでの共有だけではなく、内容を文字化し確認するとともに確認したことをサインするなど認識のズレを無くす共有方法をおこなっていく。